

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/01/16

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	34.96	0.04
JPY/THB	0.2399	-0.0013
USD/JPY	145.73	0.85
EUR/THB	38.28	0.02
EUR/USD	1.0950	-0.0001
USD/CNH	7.185	-0.004
SGD/THB	26.22	0.01
AUD/THB	23.28	-0.08
USD/INR	82.89	-0.03
USD Index	102.40	0.00

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.398	-0.001
10Y (THB)	2.724	-0.002
5Y (USD)	3.830	0.000
10Y (USD)	3.939	0.000

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,051.6	0
WTI (Oil)	72.68	0
Copper	8,381.0	42.0

Stock

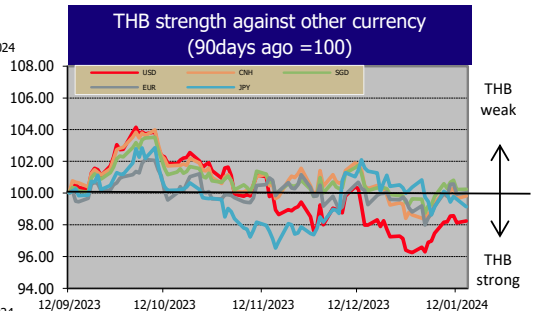
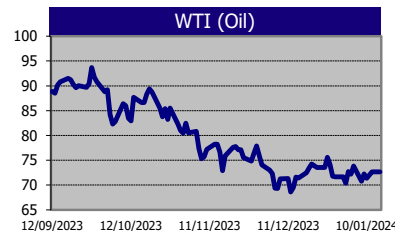
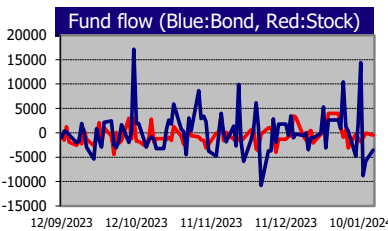
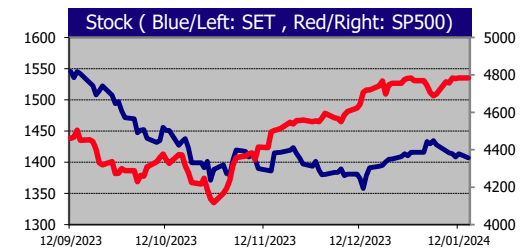
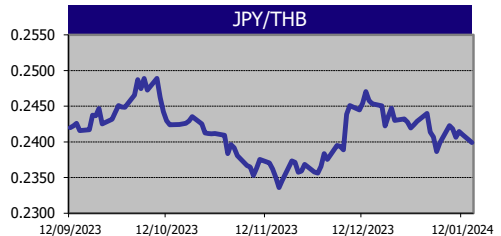
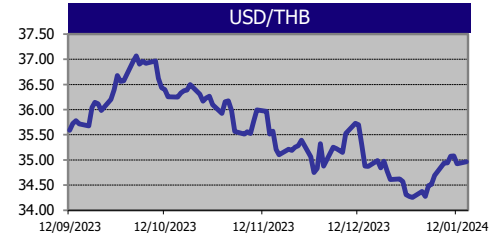
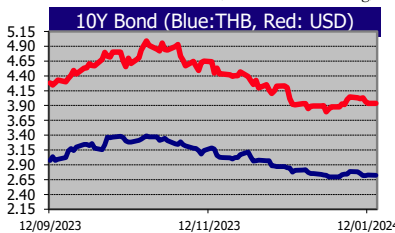
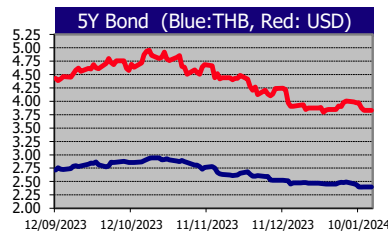
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,407.02	-6.51
NIKKEI (JP)	35,901.79	324.68
DOW (US)	37,592.98	0.00
S&P500 (US)	4,783.83	0.00
SHCOMP (CN)	2,886.29	4.31
DAX(GER)	16,622.22	-82.34

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(471)	-403.7
Bond net flow	(3,541)	2250.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバツ

・昨日のドルバツはほぼ変わらず。35バツ台ちょうど付近で取引を開始すると、先週急遽開催が決定されたタイ中銀による政策説明会が行われ、ピティ総裁補は「利下げにはリスクとコストが伴う」、「利下げは構造的な経済の問題の解決にはならない」とした上で、あくまで「政策金利はインフレと今後の見通しによって決定」され、足もと「見通しは変わっておらず、政策金利に係る緊急の会合を開催する理由はない」と述べ、年始から続くセーター首相の利下げ要請を突っぱねる格好となった。これを受けてバツ買い優勢の地合いとなり、ドルバツは一時34バツ台後半まで下落。ただ、下落一服後は米金利の上昇も相俟ってオープンと同水準まで値を戻し、往ってこいの展開に。海外時間は米国休日となる中で、34バツ台後半から35バツ台ちょうど付近で方向感に欠ける推移が続き、結局34.96レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。145円台前半で取引を開始。取引開始直後こそ144円台まで下落する場面が見られるも、その後は日経平均株価が堅調な推移を見せる中、ドル円も底堅い推移が継続。海外時間入りにかけて145円台後半まで上昇すると、その後は米国休日となる中、狭いレンジでの推移となり、そのまま145.73レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日からスイスにてダボス会議が開催されている。世界を代表する政治家・実業家が集まり世界経済・環境問題等、幅広いテーマで討論が行われる同会議であるが、今回、セーター・タイ首相も参加している。発言機会も相応にあることが想定される中、昨日、タイ中銀から利下げ要請を明確に否定されたことに對し言及はあるのか、念のため注目しておきたいところ。

足もとのドルバツ相場に目をやると、35バツ台前半付近で方向感を失っているように見受けられる。上記タイ金融政策の動向を含め、国内外で相場を動意付け得る材料が散見される中で、足もとは「次の動き」を探る展開が続きそう。かかる状況下、今後の相場の動向を窺う上で、1月8日にセーター首相による利下げ要請のヘッドラインが確認された際のドルバツ相場の上昇に比べると、昨日のタイ中銀の説明会を受けた戻しの勢いが弱かった点は気になる。ドルバツ相場については上方向の感応度が高まっていると想定される中、足もと警戒すべきは同方向への動きとなろうか。(末廣)